



S T A Y   U P   2 . 0

JP

# STAYUP 2.0

## ユーザーマニュアル

おめでとうございます。StayUpをご購入いただきました。このパラグライダー用ハーネスは、今後のフライトの理想的なパートナーとなるでしょう。

NEOはアウトドア用テキスタイル製品を製造しており、当社の製品はオートサヴォワで設計され、ハーネス、グライダー、アクセサリはすべてフランスの自社工場で製造されているという、数少ない例外の1つです。

従業員の快適さ、幸福、安らぎが当社の基盤です。

当社のこの倫理的ビジョンは、安価な労働力を使用して生産する必要がある大量消費には同意しません。コストを削減するために、海外の下請け業者は、必要な需要よりも多くの大量生産を要求します。独自の手段を使用して現地で生産することで、海外の安価な労働力の年間範囲の制限の下で過剰生産することを拒否し、さらに汚染物質を排出する輸送手段を必要とします。

そのため、NEOは顧客のニーズに合わせて生産を調整し、革新的で最新のテクノロジーを備えた高品質の製品を提供しています。そのため、NEOはこの課題に対処するためにフランスで製造することを選びました。

すべてのNEO製品と同様に、設計は環境に優しい素材を選択して行われました。主に、輸送を最小限に抑えるためのサプライヤーの選択と場所の点です。これらの選択は、安全性や素材の技術的品質を損なうことなく行われました。これらは常に当社の最優先事項です。

当社の2番目の環境への配慮は素材の使用であり、廃棄物を最小限に抑えるために最善を尽くしています。

このユーザー マニュアルでは、ハーネスの仕組みを理解するために必要な情報を提供します。このマニュアルには、ハーネスの使用法、安全に関する情報、メンテナンスとケアに関するアドバイスが記載されています。このマニュアルと最新の更新情報は、[www.neoatelier.fr](http://www.neoatelier.fr) で入手できます。

さらに質問がある場合や問題がある場合は、販売店または当社に直接お問い合わせください。

StayUpのフライトが快適になることをお祈りしています。

NEOをご利用いただき、ありがとうございます。

Thank you for flying NEO!

プレゼンテーション: StayUp 2.0	4
特徴	5
サイズチャート	6
セーフティインフォメーション・エレメント	7
プロテクション	9
NEO-Koroyd 2.3	9
Koroyd Propack	10
重要な情報	10
保管	11
メンテナンス	11
使用制限	11
有効性/フォローアップ	11
カラビナ	12
ハーネスのセットアップ	13
レスキューコンテナ	15
コンテナサイズ	15
レスキューパラシュートのインストール	15
フライト	18
プレフライトチェック	18
ハーネスを閉じる	18
ポッドを閉じる	19
レスキューコンテナの装着	20
レスキューパラシュートの開傘	20
アクセサリ	21
インストルメントパネルポケット	21
スピードバース	21
ストレージ	22
ハイドレーションシステム	23
メンテナンス	24
保管	24
メンテナンス	24
修理	24
廃棄	24



## プレゼンテーション: STAYUP 2.0

StayUpが改良版となって戻ってきましたが、その評判を支えた長所は忠実に守っています。2018年からその性能を証明してきた独自のリップストップダイニーマ素材を使用しているため、耐久性は変わりません。

この2.0バージョンは、アンバサダーのMax Pinot とTim Alongiとの緊密なコラボレーションの結果です。私たちは同じ場所に住み、同じ場所でフライトしているので、創造性と時には日々の修正が容易です。StayUp 2.0は、X-Alps、Bornes to Fly、X-Pyr どの最新のH&Fレースで使用されている 2021プロモデルバージョンがベースになっています。これらの競技での飛行の要求を満たすために、NEOシート の3D形状を再設計し、より快適で、安定性があり、取り扱いが正確になりました。

### StayUpの哲学

StayUpは、経験豊富なパイロットだけでなく、ポッドハーネスを初めて使用するパイロットにも適した、ハイエンドの軽量ポッド ハーネスです。

厳しいハイク&フライコンペティションでも、地元エリアでの日常的なフライトでも、StayUpの耐久性と重量は理想的なパートナーとなります。第一世代以来、私たちは常に快適さと着座姿勢を重視してきました。これにより、パフォーマンスやアスリートに貢献せず、ハーネスを重くする装飾や付属物を排除することで、パイロットがリラックスしてより長く、より自信を持って飛行できるようにしています。私たちのアンバサダーは効率性に非常に気を配っており、NEOのDNAも同じレベルです。

## 特徴

ネーム : StayUp 2.0

ハーネス : ソロパラグライディング

タイプ: ウルトラライトクロスカントリー、ハイク&フライ

ジオメトリー : クラシックABS、ゲットアップシステム

コンセプト : リラックスしたフライトのために、成形されたバケットシート。

StayUpはプロテクションの有無にかかわらずフライトできます。

プロテクション : NEO-Koroyd 2.3、KOROYD Propack

認証 : EN1651 + CE、

フライト時の最大総重量 : 120kg

サイズ : S – M – L – XL

重量 : 1,95 kg (M) (+/- 10% 生産許容範囲)

レスキュー : フロントコンテナ (5サイズ XS、S、M、L、XL) 、

レスキューブライダル125cm

付属品 : ライト3段スピードバー、インパネポケット

バックル : NEO 20mm アルミ2047

カラビナ : オートマチックNEO AUSTRIALPIN Rocket (64g)

オプション : Vol-biv pouch, Litebag 70L/90L

マテリアル : リップストップダイニーマ、ハイパロン、PEフォーム、

HMPEウェビング、アルミバックル

製造 : フランス



## サイズチャート

適切なハーネスのサイズを見つけることが重要です。

サイズと重量の対応を示す次の表は、ハーネスの選択に役立ちます。2つのサイズの間にある場合は、販売店のシミュレーターでハーネスをテストすることをお勧めします。

cm/kg	50	55	60	65	70	75	80	85	90	95	100
160	S	S	S	S	S	S	S				
165	S	S	S	S	S	S	M*	M			
170	S	S	S	S	S	S	M	M	M		
175		S	S	S	M	M	M	M	M	L*	
180			M	M	M	M	M	M	L	L	L
185				L	L	L	L	L	L	L	XL
190					L	L	L	L	L	XL	XL
200						XL	XL	XL	XL	XL	XL

\* フットパッドの使用が可能

## セーフティインフォメーション

当社のハーネスを使用する場合は、保険に加入しているパラグライダー、スピードライディング、またはスピードフライングの認定パイロットでなければならず、怪我や死亡を含むアクティビティに伴うリスクを受け入れなければなりません。フライト前に気象条件、風、エリア、ギア、安全性を判断できるのはパイロットだけです。ハーネスには使用中、常に注意を払い、メンテナンスを行う必要があります。NEOハーネスを誤って使用すると、これらのリスクが増大する可能性があります。

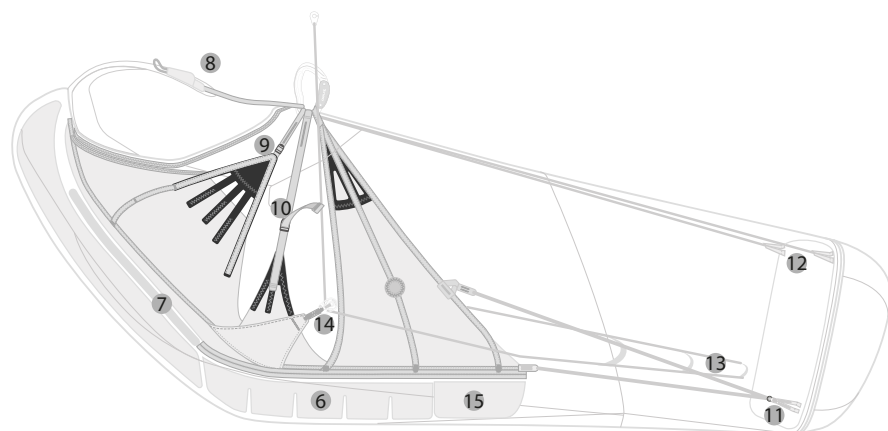
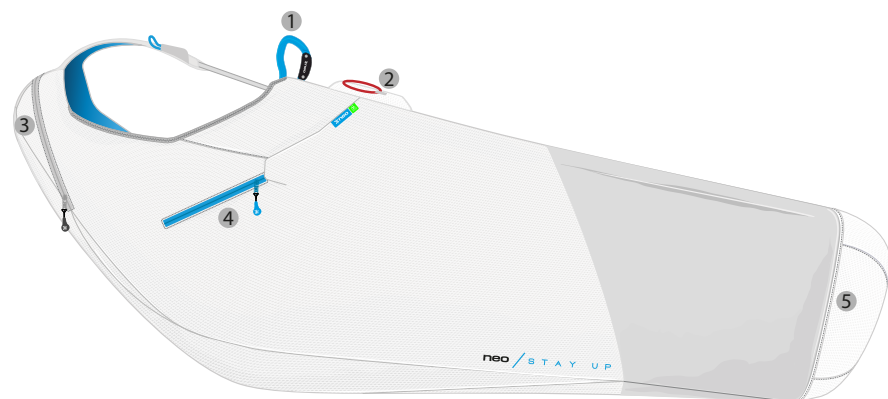
NEO SASまたはNEOディーラーは、状況に関係なく、事故後の人身または外部の損害について一切責任を負いません。このハーネスの安全使用は、ユーザーのみの責任です。ハーネスに何らかの変更を加えると、認定が無効になります。このNEOハーネスは、タンデムパラグライダー専用設計されています。ソロフライトを含むその他のアクティビティは許可されていません。

ハーネスの使用に関して不明な点がある場合は、お住まいの国のNEO販売店または輸入業者にお問い合わせください。

各国には、フリーフライトに関する独自の規則と規制があります。それらを知り、遵守するのはあなたの責任です。



## エレメント



- |                   |                 |
|-------------------|-----------------|
| 1. アタッチメントポイント    | 9. サイド調整        |
| 2. フロントコンテナ       | 10. 深さ調整        |
| 3. バックポケット        | 11. 下部ポッド調整     |
| 4. サイドポケット        | 12. 上部ポッド調整     |
| 5. フットプレート        | 13. スピードバー      |
| 6. NEO-Koroyd 2.3 | 14. スピードバープーリー  |
| 7. Koroyd Propack | 15. アンダーシートポケット |
| 8. ショルダーストラップ調整   |                 |

## プロテクション

### NEO-KOROYD 2.3

NEO-Koroyd 2.3プロテクションは StayUp 2.0に標準装備されています。シートの下にポケットに挿入されます。ポケットを開けてプロテクションを挿入したり取り外したりします。ハーネスはプロテクションなしでもフライトできます。



寸法：255 x 400mm  
 厚さ：80mm  
 重量：240g  
 認証：EN1651、CE  
 認証機関：AIR TURQUOISE (CH)、  
 ALIENOR CERTIFICATION (F)  
 サイズ：フリーサイズ  
 素材：プラスタゾートフォーム、コロイド  
 製造：フランス/ドイツ



## KOROYD PROPACK

Koroyd PROPACKはハーネスの背面ポケットに収納されています。岩や硬い物体に衝突した際、脊椎に突き刺さるのを防ぎます。



寸法：400 x 165mm

厚さ：15 mm

重量：150 g

認証：EN1621-2 LEVEL1

認証機関：ALIENOR CERTIFICATION (F)

サイズ：フリーサイズ

素材：コロイド

製造：ドイツ



## 重要な情報

NEO-Koroyd 2.3およびPROPACKプロテクターは、素材の部分的な損傷または完全な破壊を伴う衝撃エネルギーを吸収するように作られています。強い衝撃を受けた場合は、損傷を評価するために目視検査を行う必要があります。疑わしい場合は、NEO販売店にお問い合わせください。プロテクターの特性に影響を与える可能性のある変更は行わないでください。プロテクターは、開発された目的にのみ使用してください。いかなる状況でも、パラグライダー以外のアクティビティには使用しないでください。プロテクションは、バックプロテクターがハーネスに挿入されている場合にのみ保証されます。プロテクターは、怪我に対する完全なプロテクションを保証するものではありません。プロテクターで覆われた部分のみが保護されます。脊椎の怪我は避けられません。

## ストレージ

70°C (158°F) を超える温度にさらされると、プロテクション性能が大幅に変化する可能性があります。暗い色の車両やリュックサックの中は、暑い日にはこの温度を超える可能性があります。プロテクターを保管する最適な位置は平らな状態です。過度に曲げたり、長時間曲げたりすると、プロテクターの特性が変化する可能性があります。

## メンテナンス



洗濯不可



タンブル乾燥不可



アイロン不可



ドライクリーニング不可



日陰乾燥



漂白剤の使用不可

プロテクターは洗濯しないでください。プロテクターが濡れた場合は、ハーネスから取り外し、直射日光を避けて乾かしてください。

## 使用制限

強い衝撃を受けた場合、プロテクターは資格のある人が検査する必要があります。次の点を確認してください：

- プロテクターが入っているポケットの素材や縫製に欠陥がないこと。
- Koroyd の部品は変形がなく、無傷であること。

疑問がある場合は、販売店にお問い合わせください。

## 有効性/フォローアップ

ハーネスとそれに統合されたバックプロテクター NEO-Koroyd 2.3 の寿命は、購入日から5年です。この寿命は使用状況に応じて変化する、保護装置が適切に管理されていれば、さらに長くなる可能性があります。

専門施設は、NEO-Koroyd 2.3 プロテクションシステムの使用状況のフォローアップを実施する必要があります。このフォローアップには、次のものが含まれます。

- 初回使用前の検査
- 定期検査
- 検査ログ

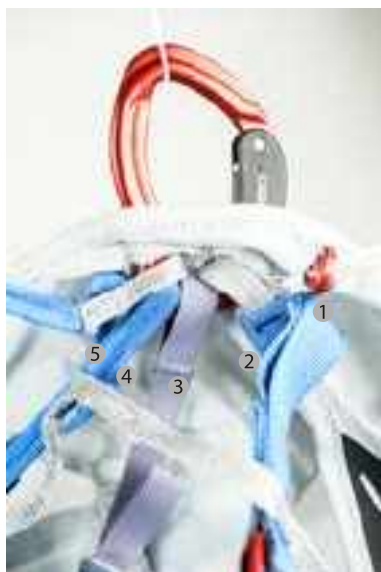


## カラビナ

ハーネスにはカラビナ（オーストリアアルピンロケット カラビナ）が取り付けられた状態で納品されます。

カラビナは、500フライト時間または5年間の使用後に使用を中止し、交換する必要があります。カラビナの詳細については、ギアに付属のマニュアルまたはWebサイトを参照してください。

カラビナは、グライダーとレスキューの唯一の取り付けポイントです。牽引用ブライダルを取り付けるために使用できます。ハーネスには他の取り付けポイントはありません。



### カラビナの取り付け

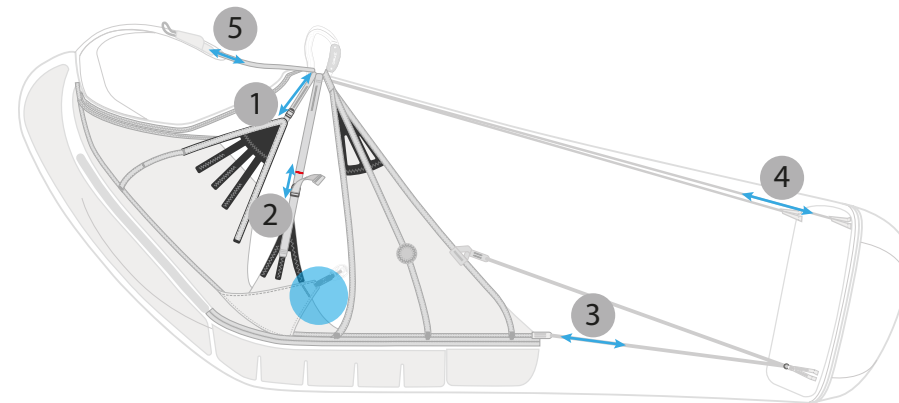
カラビナが取り外されている場合は、左の写真を参照してカラビナに取り付けられたウェビングを確認してください。後ろから前に向かって、次のようになります。

1. 上部ポッドストラップ
2. メインストラップ（折り畳み）
3. 深さストラップ
4. サイドストラップ
5. ショルダーストラップ。

カラビナはハーネスの外側にある2つの穴で固定されます。  
ご不明な点がある場合は、販売店にお問い合わせください。

## ハーネスセットアップ

初めてのフライトの前に、ハーネスを調整することが重要です。短時間のフライトは、長時間のフライトの前に微調整するのに役立ちます。下の図の青い円は、ヒップの理想的な位置を示しています。正しいセットアップのために、次の手順に従うことをお勧めします。



### 1. サイドストラップ

サイドストラップを使用すると、背もたれの傾斜を調整できます。これは最初に行うべき調整であり、フライト習慣によって異なります。これにより、座った姿勢またはリクライニング姿勢を取ることができます。

### 2. 深さストラップ

深さストラップには赤いステッチが付いており、これを超えないようにしてください。この調整は、身長の高いパイロットがシートを調整できるようにするためのものです。このストラップはきつく締めすぎないようにしてください。

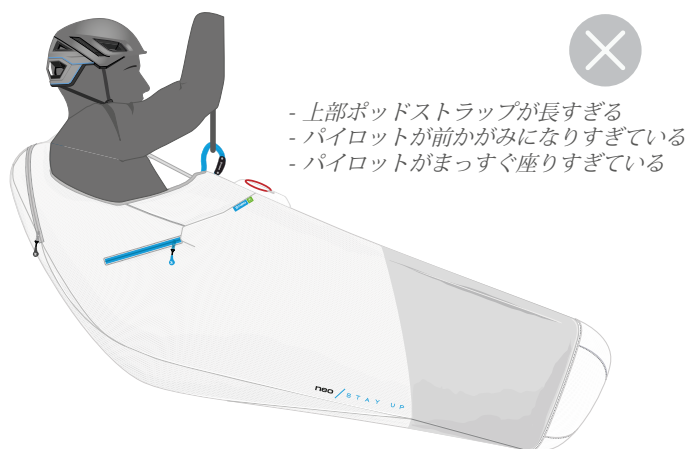
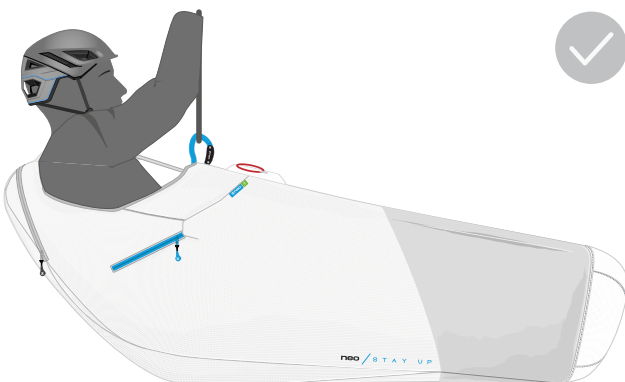
### 3/4. ポッド調整

ストラップの長さは、結び目のあるコードで調整します。コードのカウヒッチを結び目の上に動かして、ポッドを長くしたり短くしたりします。これらは、シートを変更する上で最も重要な調整です。

### 5. ショルダーストラップとフロントストラップ

ショルダーストラップを使用すると、フライト中の肩への圧力とテイクオフ時のハーネスの高さを調整できます。警告: 背中への疲労を避けるために、このストラップを締めすぎないことをお勧めします。フライト中にショルダーストラップを締めてハーネスと一体化させたい場合は、両方のショルダーストラップを一度に調整できるフロントストラップの使用をお勧めします。





## レスキューコンテナ

### コンテナサイズ

StayUp 2.0 のレスキュー コンテナには、SからXLまでの4つのサイズがあります。レスキューとコンテナの互換性を確認することは非常に重要です。すべてのサイズは、すべてのハーネス サイズと互換性があります。下の表は、コンテナと互換性のあるレスキューを示しています。

SIZE	VOLUME (L)	SKYWALK						GIN				ADVANCE COMPANION				SUPAIR						NER-VURES		SKY		
		TAPA XALPS 90	TAPA XALPS 105	TAPA XALPS 125	PEPPER CROSS 90	PEPPER CROSS 110	PEPPER CROSS 135	YETI UL S	YETI UL M	YETI UL L	YETI #27	SQR LIGHT 80	SQR LIGHT 100	SQR LIGHT 120	SQR 100	SQR 120	FLUID LIGHT S	FLUID LIGHT M	FLUID LIGHT L	SHINE S	SHINE M	SHINE L	PLUM #M	PLUM #L	SKYSYSTEM 90	SKYSYSTEM 110
XS	2,9	✓	✓																							
S	3				✓		✓				✓					✓										
M	3,4			✓		✓		✓				✓							✓							
L	3,9					✓			✓				✓	✓			✓			✓						
XL	4,3								✓						✓			✓			✓	✓	✓	✓	✓	✓

### レスキューパラシュートのインストール

コンテナにはレスキュー用のブライダルがあらかじめ取り付けられています。下の写真はコンテナ内でのレスキューシステムの様子です。





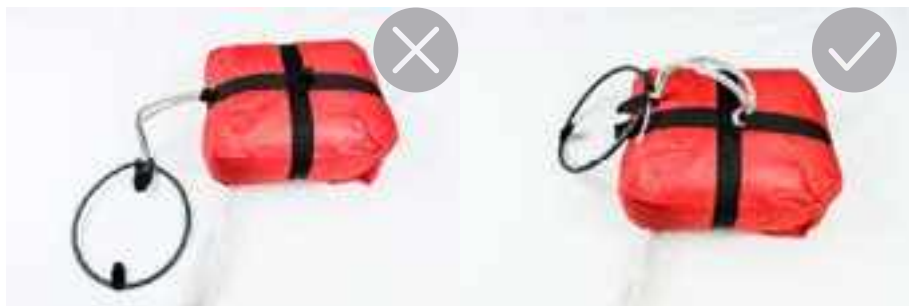
### レスキューブライダルの接続

レスキューは、レスキュー独自のブライダに直接接続するか、6mmオーバーステンレス製ラピッドリングを使用してブライダルに接続する必要があります。直接接続する場合は、結び目が平らであることを確認してください。



### ハンドルの取り付け

開傘時のブライダルの長さを考慮するために、ハンドルはポッドの中央のアタッチメントに取り付ける必要があります。



### ハンドルの取り付け

レスキューシステムは、コンテナの底にブライダルを配置し、ハンドルをト確実に取り付けする必要があります。



### コンテナを閉じる

まず、スライダーをクローズングループに置きます。次に、短いコードを使用してハンドルの2本のワイヤーをループに挿入し、ハンドルのベルクロを閉じます。コードを取り外します。2つのジッパーを最後まで閉じます。以下の写真は、実行するさまざまな手順を示しています。レスキューの取り付けについて疑問がある場合は、販売店にお問い合わせください。



## フライト

### プレフライトチェック

フライト前に、ハーネス、ウェビング、取り付けポイントの全体的な状態を確認するのはユーザーの責任です。

### ハーネスを閉じる

ハーネスを閉じるには、2つのバックル（色分けに注意）でフロントストラップを閉じ、次にチェストストラップを閉じます。以下の写真はハーネスを閉じる方法を示しています。



### ポッドを閉じる

ハーネスを閉じたら、ポッドのフラップを閉じる必要があります。



#### 左フラップ

左のフラップを閉じるには、フラップに取り付けられたアルミ製トグルを青いカラビナに近いリングの内側に通します。識別しやすいように、ウェビングは白色です。



#### 右フラップ

右フラップを閉じるには、まずフロントストラップの安全トグルを右カラビナの近くにある赤いリングに通します。次に、トグルをもう一度右フラップのリングに通します。

識別しやすいように、ウェビングとリングは赤色です。



フラップが閉じたら、テイクオフ前にすべてを確認してください。



## レスキューコンテナの装着

ハーネスとポッドが正しく閉じられたら、レスキューをメインのカラビナに取り付ける必要があります。そのためには、カラーコードに従って、レスキュー ブライダルをカラビナに通します。ループをカラビナゲートの下に置くことを忘れないでください。

コンテナがねじれないように、ハーネスの赤い安全トグルをコンテナの左側にある小さな赤いループに通します。



## レスキューパラシュートの開傘

フライト中に事故が発生した場合にレスキューパラシュートを開傘するには、レスキューハンドルを横に引く必要があります。シミュレーターでの開傘テストにより、動きをよりよく学ぶことができます。

## アクセサリ

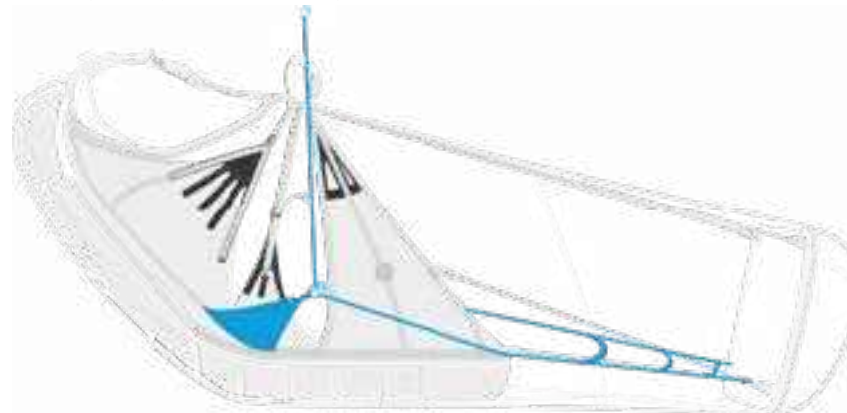
### インストルメントパネルポケット

ハーネスには計器パネルポケットが付いています。ベルクロパッチでデバイスを所定の位置に取り付けて固定できます。テイクオフ時には、コックピットをコンテナの上に置き、ストラップを首に通すだけです。コックピットの穴から電源ケーブルを配線できます。



### スピードバー

ハーネスには3段階のライトスピードバーが付属しています。ハーネスには直径20mmのボールベアリングプーリーが付いています。これらはソフトリンクで取り付けられており、たとえばプーリーをより大きなものやオートラチェットプーリーに変更できます。プーリーを変更する場合は、プーリーが確実に動くことを確認することが重要です。スピードシステムを取り付けるには、コードをシートのすべてのウェビングの外側に通してからプーリーに通し、カラビナの下専用穴から引き出します。戻りゴムバンドをフットプレート下部の取り付けループに結びます。最初の飛行の前に長さを確認することが重要です。

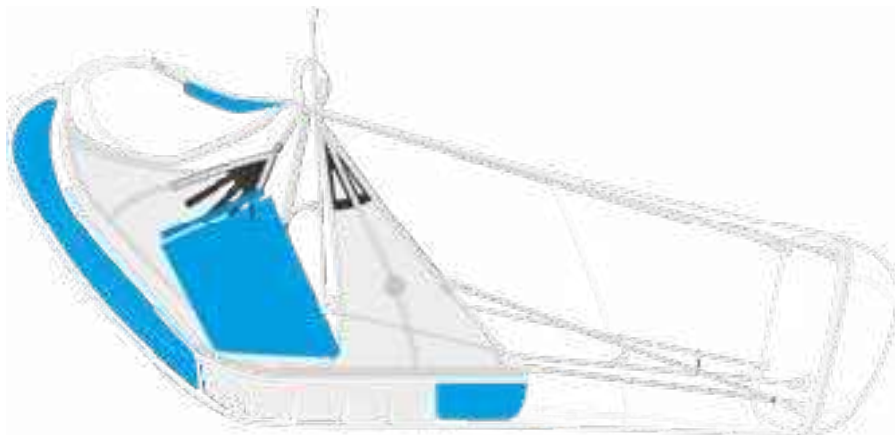




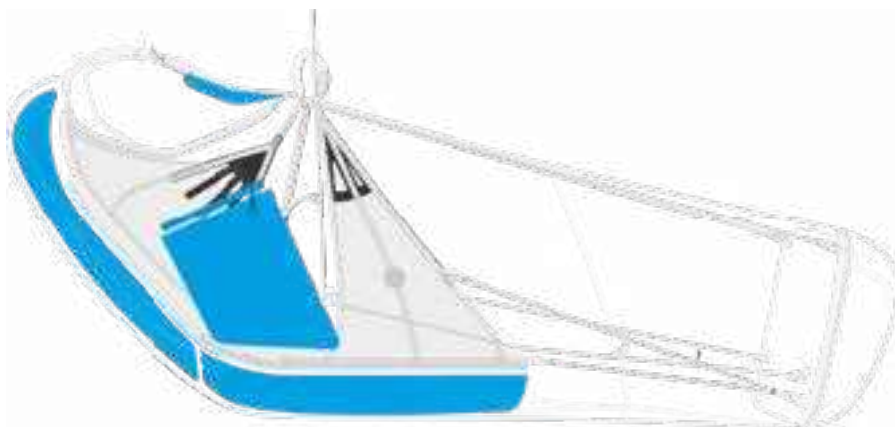
## ストレージ

StayUpにはさまざまなストレージ オプションが備わっています。

- 25Lバックポケット
- サイドポケット
- 6Lアンダーシートポケット
- コクピットポケット

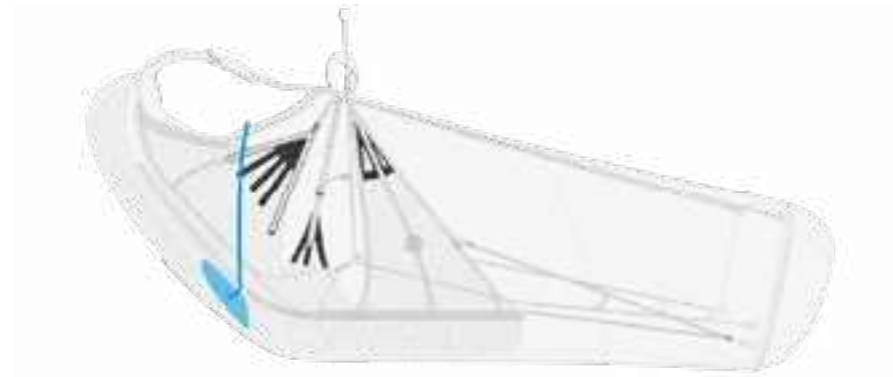


背中のプロテクター用のポケットは、ビバークフライトで柔らかいアイテムを収納するのに使用できます。オプションのVol-biv pouchをプロテクター用のポケットとシート下のポケットの代わりに使用して、収納容量を増やすことができます。



## ハイドレーションシステム

ハイドレーションシステム専用のポケットはありません。ハイドレーションチューブを通す穴がバックポケットの底部にあり、ブラダーを底部に配置することで重量を重心に近づけることができます。



## メンテナンス

### 保管

ハーネスは、70°C（158°F）を超える温度にさらされると、大きく変化する可能性があります。暗い色の車やリュックサックの中は、暑い日にはこの温度を超える可能性があります。

ハーネスは、紫外線、熱、湿気に不必要にさらされないようにしてください。保護具とハーネスを保管する最適な位置は、平らに置くことです。過度に曲げたり、長時間曲げたりすると、ハーネスの特性が変化する可能性があります。

### メンテナンス

ハーネスは洗濯機で最大 30°Cまで洗えますが、定期的に洗わないでください。洗濯は1年に1回以上行わないでください。

プロテクションは洗わないでください。プロテクションが濡れた場合は、ハーネスから取り外して直射日光を避けて乾かしてください。

ハーネスは1年に1回、150時間後、または強い衝撃を受けた後に点検してください。

縫い目、ウェビング、リンクを定期的に点検してください。

ハーネスと同じ間隔でレスキューシステムを定期的に点検することが重要です。点検の詳細については、レスキュー モデルのユーザー ガイドを参照してください。

### 修理

修理は NEOの工場または認定修理工場で行う必要があります。

### 廃棄

製品が使用できなくなった場合、またはパイロットが摩耗していると判断した場合は、金属部品を取り外して責任を持って廃棄処分してください。



## コンタクト

### コンセプト & 製造

NEO SAS  
ZA des Vernays  
74210 Doussard -  
France tel. +33 (0)4 50  
51 90 69  
neo@neoatelier.fr

### 認証機関

Air Turquoise SA  
Route du Pré-au-comte 8 1844  
Villeneuve - Suisse  
tel. +41 (0)21 965 65 65  
info@para-test.com

Alienor Certification  
Zone du Sanital  
21 rue Albert Einstein  
86100 Chatelleraut - France  
tel. +33 (0)5 49 14 13 10  
contact@alienor-  
certification.com

### 販売代理店

アエロタクトコーポレーション  
〒125-0035  
東京都葛飾区南水元2-26-11  
Bell Wood bldg.201号室  
TEL : 03-6231-3440  
FAX : 03-6231-3441

MADE IN FRANCE

